

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公開番号】特開2019-84106(P2019-84106A)

【公開日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2019-021

【出願番号】特願2017-215226(P2017-215226)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月17日(2019.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

操作機会が付与される受付演出を発生させる受付演出発生手段と、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記受付演出には、

遊技者による操作があった場合、該操作があつたことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無くても遊技者による操作があつたときと同じ操作後演出を実行する自動受付演出、及び

遊技者による操作があつた場合、該操作があつたことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無い場合、遊技者による操作があつたときと同じ操作後演出を実行しない非自動受付演出

が含まれており、

前記自動受付演出及び前記非自動受付演出はいずれも、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動の方が、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況にあるときに実行された図柄変動よりも発生する割合が高くなるが、

前記判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動において前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合は、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況において前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合よりも高いようになっており、

さらに、

前記受付演出が発生するよりも前に、該受付演出が発生することを示唆する前兆演出を

実行可能であり、

前記前兆演出は、所定種別の前兆演出として実行される場合があり、該所定種別の前兆演出が実行されると、該所定種別の前兆演出に対応する受付演出として、前記自動受付演出が発生する場合と、前記非自動受付演出が発生する場合とがあり、

さらに、

前記前兆演出は、特別種別の前兆演出として実行される場合があり、該特別種別の前兆演出が実行されると、該特別種別の前兆演出に対応する受付演出として、前記非自動受付演出が発生することではなく、前記自動受付演出が発生するようになっており、

さらに、

遊技者による操作の受付けがされなくても遊技者による操作の受付けがされたときと同じ第1操作後演出を発生させる前記自動受付演出と、遊技者による操作の受付けがされない場合、遊技者による操作の受付けがされたときと同じ第2操作後演出を発生させない前記非自動受付演出とでは、遊技者による操作の受付けが許容される状態になったこと、または該受付けが許容される状態になることを示唆する受付許容音として、同じ態様が出力されうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

操作機会が付与される受付演出を発生させる受付演出発生手段と、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記受付演出には、

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無くても遊技者による操作があったときと同じ操作後演出を実行する自動受付演出、及び

遊技者による操作があった場合、該操作があったことに基づいて操作後演出を発生させ、遊技者による操作が無い場合、遊技者による操作があったときと同じ操作後演出を実行しない非自動受付演出

が含まれてあり、

前記自動受付演出及び前記非自動受付演出はいずれも、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動の方が、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況にあるときに実行された図柄変動よりも発生する割合が高くなるが、

前記判定情報の数が所定数よりも少ない状況にあるときに実行された図柄変動において

前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合は、前記判定情報の数が所定数よりも多い状況において前記受付演出が発生したときにこれが前記自動受付演出ではなく前記非自動受付演出である割合よりも高いようになっており、

さらに、

前記受付演出が発生するよりも前に、該受付演出が発生することを示唆する前兆演出を実行可能であり、

前記前兆演出は、所定種別の前兆演出として実行される場合があり、該所定種別の前兆演出が実行されると、該所定種別の前兆演出に対応する受付演出として、前記自動受付演出が発生する場合と、前記非自動受付演出が発生する場合とがあり、

さらに、

前記前兆演出は、特別種別の前兆演出として実行される場合があり、該特別種別の前兆演出が実行されると、該特別種別の前兆演出に対応する受付演出として、前記非自動受付演出が発生することではなく、前記自動受付演出が発生するようになっており、

さらに、

遊技者による操作の受付けがされなくとも遊技者による操作の受付けがされたときと同じ第1操作後演出を発生させる前記自動受付演出と、遊技者による操作の受付けがされない場合、遊技者による操作の受付けがされたときと同じ第2操作後演出を発生させない前記非自動受付演出とでは、遊技者による操作の受付けが許容される状態になったこと、または該受付けが許容される状態になることを示唆する受付許容音として、同じ態様が出力されうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】